

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 16 年 12 月 2 日 (2004.12.2)

【公開番号】特開 2003-141441 (P2003-141441A)

【公開日】平成 15 年 5 月 16 日 (2003.5.16)

【出願番号】特願 2001-339352 (P2001-339352)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 K 7/01

G 0 6 K 7/00

G 0 6 K 7/015

【F I】

G 0 6 K 7/01 F

G 0 6 K 7/00 A

G 0 6 K 7/015 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 16 日 (2003.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

読取対象に記録された一次元又は二次元のコードを光学的に読取る読取機構を備えると共に、前記読取対象に対して読取位置を示すための複数個のマーカ光を照射するマーカ光照射手段を備える光学式情報読取装置であって、

前記複数個のマーカ光は、前記読取機構の読取視野の中央部を示すマーカ光を含むと共に、前記マーカ光照射手段は、前記読取視野の中央部を示すマーカ光を残りのマーカ光と区別できるように、それらマーカ光の色を異ならせることを特徴とする光学式情報読取装置。

【請求項 2】

読取対象に記録された一次元又は二次元のコードを光学的に読取る読取機構を備えると共に、前記読取対象に対して読取位置を示すための複数個のマーカ光を照射するマーカ光照射手段を備える光学式情報読取装置であって、

前記複数個のマーカ光は、前記読取機構の読取視野の中央部を示すマーカ光を含むと共に、前記マーカ光照射手段は、前記読取視野の中央部を示すマーカ光を残りのマーカ光と区別できるように、マーカ光の連続点灯と点滅とにより、あるいはマーカ光の点滅周期を変えることにより、前記読取視野の中央部を示すマーカ光と残りのマーカ光との照射形態を異ならせることを特徴とする光学式情報読取装置。

【請求項 3】

前記残りのマーカ光は、少なくとも 2 個が照射され前記読取視野の範囲を示すことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の光学式情報読取装置。

【請求項 4】

前記残りのマーカ光も、その位置が互いに区別できるように異なる照射形態で照射されることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の光学式情報読取装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の光学式情報読取装置は、複数個のマーカ光を読取対象に対して照射するものにおいて、読取視野の中央部を示すマーカ光を残りのマーカ光と区別できるように、それらマーカ光の色を異ならせるように構成したものである（請求項1の発明）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】削除

【補正の内容】